

おぢか 議会だより

第 75 号 2011. 3. 25

お世話になりました。

東日本大震災犠牲者のご冥福を祈ります。
また、被災地の一日も早い回復を心より願っています。

山田町長最後の定例会（2P）
平成 23 度の予算を可決（4P）
出産育児一時金増額（8P）
平成 22 年度補正予算（9P）
一般質問は 3 人登壇（10P）

平成23年
第1回定例会

山田町長最後の定例会

冒頭で退任の挨拶！

「これからも、行政、議会、町民が一体となって魅力ある島を守って欲しい」



「厳しい状況の中、町職員の力強い協力で

ここまでやってこれた。」

山田町長、町政のための貴重な意見や協力を議員に感謝！

3月8日から11日までの4日間の日程で平成23年第1回定例会が開かれました。

今回の主な議案は本年度の予算案でした。一般会計と特別会計の当初予算については2日間にわたり慎重に審議し満場一致で原案通り可決しました。

また、国民健康保険条例を改正し、出産育児一時金支給額を35万円から39万円に増額。制度の移行により老人保健事業特別会計を特別会計条例から削除し廃止。法律の改正による職員の勤務時間休暇に関する条例の一部を改正。職員の給与に関する条例の一部を改正。診療所医師の手当て、勤務時間に関する条例を改正。その他、指定管理者の指定などが可決されました。（関連記事は8ページ）

一般質問は3人が、高齢者福祉関連について、過疎地域自立促進計画について、8年間の行財政運営について町長と教育長に聞きました。（10ページ～14ページ）。



3月8日、平成23年第1回定例会が開催されました。

冒頭、施政方針で山田町長は、今期限りで町長職を引退することを明言し、議員、職員に感謝の意を述べました。

した。

3人の議員の一般質問においても山田町長に対し労をねぎらう発言が相次ぎました。

今回の当初予算は骨格予算だと言いつつも、一般会計で22億7,670万円、特別会計は7会計合計で16億5,125万円の規模となっています。

歳入で地方交付税に含みを持たせ、歳出では急を要しない各種補助金などが計上されておらず、新たな首長の基での判断を待つ予算となっています。

予算案の質疑では松毛虫の異常発生に対する対策を急ぐよう担当へ迫る発言が続きました。

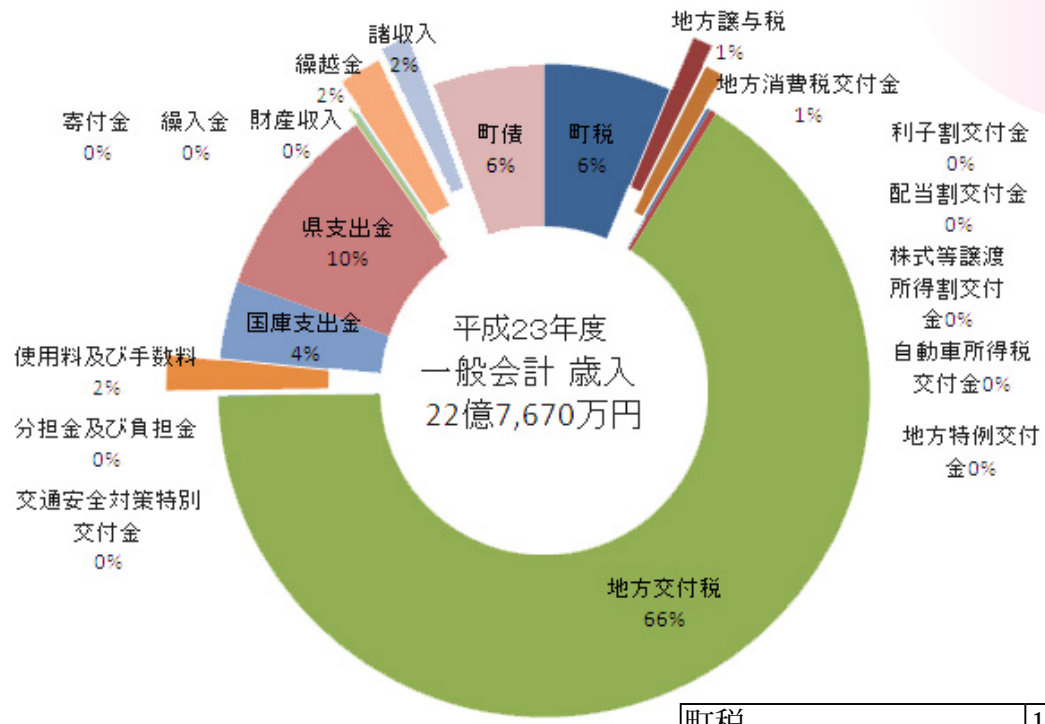
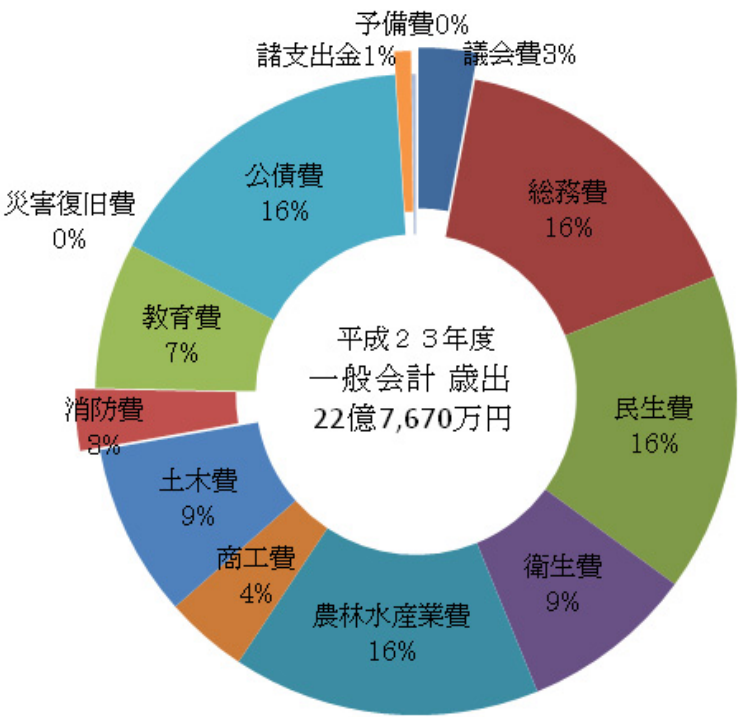
町税や国民健康保険税、介護保険などの滞納金が増えている現状について憂慮する意見も述べられました。慎重に審議した結果、原案の通り可決しました。

この8年間町存続、町勢浮揚のため、貴重な意見、またご協力を賜り、誠にありがとうございました。日本で最も美しい村連合にも加盟しているこの小値賀町が、いつまでも輝く、魅力ある、住みよい小値賀町であり続けるよう、行政、議会、町民が一体となって、守っていかれますようお願いいたします。」と結ばれました。

平成23年度当初予算一般会計 総額 22 億 7,670 万円に決まる！

特別会計の総額は 7 会計で 16 億 5,125 万円に

議会費	6,712 万円
総務費	3 億 6,522 万 5,000 円
民生費	3 億 6,603 万 9,000 円
衛生費	1 億 9,948 万 7,000 円
農林水産業費	3 億 5,283 万 3,000 円
商工費	9,500 万 8,000 円
土木費	1 億 9,875 万 5,000 円
消防費	7,051 万 2,000 円
教育費	1 億 6,773 万 3,000 円
災害復旧費	5,000 円
公債費	3 億 7,011 万 3,000 円
諸支出金	1,900 万円
予備費	487 万 3,000 円



町税	1 億 4,328 万 2,000 円
地方譲与税	2,430 万 1,000 円
利子割交付税	43 万円
配当割交付金	13 万円
株式等譲渡所得割交付金	7 万円
地方消費税交付金	2,160 万円
自動車所得税交付金	380 万円
地方特例交付金	800 万円
地方交付税	15 億円
交通安全対策特別交付金	25 万円
分担金及び負担金	116 万 9,000 円
使用料及び手数料	4,061 万 6,000 円
国庫支出金	8,700 万 4,000 円
県支出金	2 億 2,286 万 5,000 円
財産収入	668 万 2,000 円
寄附金	9,000 円
繰入金	116 万 7,000 円
繰越金	5,000 万円
諸収入	3,672 万 5,000 円
町債	1 億 2,810 万円

一般会計当初予算審議の主な質疑

問 町税の滞納件数は？

答 町民税 7 件、固定資産税 17 件。

問 現在所得税、住民税の申告を受付中だが、
税収についての感触を伺う。

答 漁業が魚価の低迷と燃油の高騰等、経費
がかさみ、昨年に増して厳しい状況にあ
ると感じている。

問 財源不足を補うため発行する臨時財政対
策債が 22 年度に比べ大幅な減となっ
ているが減額の理由は？

答 人口基礎方式から財源不足額基礎方式へ
移行することと国の地方財政計画で枠の
減少による減額。

問 子ども手当費 2,598 万 3,000 円の財源内
容は？

答 国費 1,977 万 1,000 円 (76.1%)、
県費 310 万 5,000 円 (11.9%)、
一般財源 310 万 7,000 円 (12.0%)

問 落花生生産拡大事業（実証試験）委託事
業の内容は？

答 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活
用して、落花生の生産拡大を図るため生
産と加工を区分して農家に 50 アール、
委託先に 50 アール作付け、実証試験を
行うもの。

本年は選挙の年であり、予算
は過疎計画等で位置づけられた
事業のうち、補助金、地方債等
の手續き上、予算措置が必要な
ものや年度当初から着手するソ
フト事業、前年度からの継続事
業、経常的経費を計上した骨格
予算となっています。

向上、医療の確保、人材育成（地
域担い手）、都市住民との交流
促進（交流居住、定住地域おこ
し隊）など過疎地域自立促進
計画に基づいた事業費などが計
上されています。

予算総額は、前年度当初予算
23 億 4,400 万円と比較して
6,730 万円（2.9%）減となっ
ています。

本年は選挙の年、骨格予算で

平成23年度当初予算 特別会計（7会計は次の通り）

小値賀町には法令で義務づけられている特別会計に簡易水道事業、下水道事業、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業、自治法の定める要件に適合するものに渡船事業、国民健康保険診療所事業など7つがあります。尚、老人保健事業特別会計は後期高齢者医療事業特別会計へ移行し、この度、精算業務も終了したので本年度より廃止になりました。

簡易水道事業特別会計

予算総額 9,125万円

主な歳入	事業収入	5,514万円
	一般会計繰入金	3,510万9,000円
主な歳出	公債費	5,030万7,000円
	総務費	4,054万3,000円



下水道事業特別会計

予算総額 1億8,150万円

主な歳入	一般会計繰入金	1億5,771万3,000円
	事業収入	2,278万7,000円
主な歳出	公債費	1億4,595万6,000円
	総務費	3,533万6,000円



渡船事業特別会計

予算総額 5,580万円

主な歳入	一般会計繰入金	1,900万円
	事業収入	925万2,000円
主な歳出	渡船事業費	5,356万8,000円
	公債費	178万2,000円



主な質疑 問 船客傷害保険の内容は？

答 1人で3千万円から3億円。定員60人まで。

国民健康保険診療所特別会計

予算総額 4億2,400万円

主な歳入	診療収入	3億4,624万2,000円
	繰入金	4,650万円
主な歳出	医業費	2億3,205万1,000円
主な質疑	問 町債の充当先は？	



答 医療機械器具購入事業、医師代診応援事業、専門医外来確保事業。専門医外来確保事業の中では、特殊外来診療負担金、船舶借上料が主なもの。

国民健康保険事業特別会計

予算総額 4億8,600万円

主な歳入	国庫支出金	1億3,425万4,000円
	国民健康保険税	1億1,645万2,000円
	一般会計繰入金	1,965万4,000円
主な歳出	保険給付費	2億8,900万5,000円
	後期高齢者支援金	6,279万円



主な質疑 問 特定健診の受診率は？

答 47.3%。目標の55%を達成していないが、来年もこの目標率を目指して努力する。

介護保険事業特別会計

予算総額 3億7,347万7,000円

主な歳入	国庫支出金	1億946万6,000円
	支払基金交付金	1億769万8,000円
	保険料	4,255万2,000円
	一般会計繰入金	5,247万5,000円
主な歳出	保険給付費	3億5,390万円



主な質疑 問 滞納繰越はないのか？滞納者への対応は？

答 2月までで8件の約35万円ほど。訪問しながら納付相談をしていく。

後期高齢者医療事業特別会計

予算総額 3,922万3,000円

主な歳入	一般会計繰入金	2,066万5,000円
主な歳出	広域連合負担金	3,712万円
主な質疑	問 保険料の徴収状況は？	



答 20年度、21年度は100%。22年度は特別徴収分が100%。普通徴収分が99.62%。

平成22年度補正予算

一般会計（第7号）

6,681万6,000円を追加し、
予算総額を27億6,234万8,000円に

主な歳入補正	繰入金	4,381万7,000円増額
	地方交付税（特別交付税）	2,000万円増額
	国庫支出金	422万5,000円増額
	寄附金	314万6,000円増額
主な歳出補正	総務費	1億2,056万6,000円増額
	農林水産業費	1,616万円減額

問 肉用牛経営規模拡大事業 107万6,000円減額は？

答 高齢化で畜産をやめていく人がいるなどの要因で、牛の増頭目標を達成することができなかった。見込んだ事業費の一部を減額した。

地方交付税は17億1,428万7千円に
積立金に1億4,649万3千円補正

国民健康保険事業特別会計（第3号）

2,374万7,000円を減額し、
総額5億2万7,000円に。
主に医療費の減による保険給付費の減額

介護保険事業特別会計（第3号）

2,326万円を減額し、
総額を3億6,336万9,000円に。
主に実績による保険給付費の減額

簡易水道事業特別会計（第2号）

10万円を減額し、
総額を8,403万5,000円に。
主に繰入金の減額と歳出では総務費の減額

下水道事業特別会計（第4号）

420万8,000円を減額し、
総額を1億8,923万6,000円に。
主に繰入金の減額、歳出で総務管理費の減額

老人保健事業特別会計（第1号）

9,000円を増額し、
総額を21万4,000円に。
主に繰越金の増額、歳出で一般会計繰出金増額

後期高齢者医療事業特別会計（第2号）

6万2,000円を増額し、
総額を3,939万7,000円に。
主に受託事業収入、歳出は健康診査費の増額

渡船事業特別会計（第3号）

147万6,000円を減額し、
総額を5,424万6,000円に。
主に国庫補助金の減額、歳出で管理費の減額

国民健康保険診療所特別会計（第4号）

293万円を減額し、
総額を4億4,330万円に。
主に繰入金の減額、歳出で一般管理費の減額

今回の条例改正の主なものは次のとおりです。 いずれも原案の通り可決しました。

職員の給与に関する条例の一部を改正

期末手当については、期末手当基礎額に、六月支給分は百分の百二十二・五へ減少、十二月支給分については百分の百三十七・五へ増加、勤勉手当では、勤勉手当基礎額に百分の六十七・五へ増額、合わせると、全体で百分の十二・五のマイナスとなります。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

1日の勤務時間を8時間から7時間45分に、1週間あたりの勤務時間を40時間から38時間45分とするものです。1日7時間45分を超える場合は1時間の休憩を取ることに改正しました。

小値賀町特別会計条例の一部を改正

後期高齢者医療事業の設置に伴い、老人保健医療費の精算業務だけになっていた老人保健事業特別会計をこの度役割を終えたので廃止するものです。従って小値賀町特別会計は7会計になります。

小値賀町国民健康保険条例の一部を改正

出産育児一時金を現行の35万円支給から39万円に増額するものです。



小値賀町国民健康保険診療所医師の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正
診療所所長の手当にて宅直手当てを1日につき1万円を追加するものです。時間外手当ての宅診分は無くなります。

指定管理に関すること

小値賀町地域福祉センターの指定管理者の指定を

小値賀町社会福祉協議会へ

小値賀町高齢者生活福祉センター「たんぼぼ荘」の指定管理者の指定を

小値賀町社会福祉協議会へ

※いずれも期間は平成23年4月1日から5年間です。

いっばん
いっもん

町政のここがききたい これを提案

後期高齢者の保険料はどうなるのか？



浦 英明議員

「26年までは軽減措置があるが、その後は県内一律の保険料に」



保険料の動向は？

【答】 山田町長

原則的に医療費に係る5割が公費で、4割が現役世代が負担し、残りの1割を高齢者の保険料で賄う仕組みとなっています。

現在の本町は、平成25年度まで緩和措置があり

現在は均等割3万7、500円、所得割6、9%となっています。24年度・25年度は未定です。制度がこのままだと、26年度以降は長崎県内一律の金額になる予定です。

平成20年4月開始の後

期高齢者医療制度は当初から全国的に批判が噴出し問題も指摘されている。これまでの経過と問題点を伺う。

【答】 山田町長

高齢者の増加とそれに伴う高齢者医療費の増大による財政負担の抑制策としてこの制度が始まりました。75歳以上の方を国保や健保から切り離して、独立した保険としたのが大きな特徴です。

しかし、国民や各政党から、各種の批判があり、高齢者医療制度改革会議を立ち上げて本格的

な制度見直しに入り、平成22年に改革案をとりまとめました。

その内容は、後期高齢者制度を廃止して、地域保険を国保に一元化する、都道府県単位の財政運営を図るなどです。

これに基づく新制度への移行は平成26年3月の予定となっています。

この制度の問題点は、75歳という年齢で区分したために高齢者に対する差別と捉えられた部分や年金等からの天引きにより介護保険料と合わせる大きな負担となり、低所得者への負担が増えたという点があります。これが廃止の流れに繋がったと思います。

介護事業全般の現状と問題点は？

【問】 浦議員

小値賀において介護保険で入所できる施設の現状と問題点は？

【答】 山田町長

特別養護老人ホーム「養寿園」と認知症高齢者グループホーム「暖家」の2つです。さらに4月から開設予定のグループホーム「おぢかの家」が加わります。

養寿園の待機者は25名ですが、この中には介護度や緊急度が低い人も含

目安は？

【答】 山田町長

養寿園の場合、年金80万円以下で実質3万7、000円、年金80万円以上で、5万5、000円となります。グループホームでは、高額介護サービス費を除き実質5万2、000円～5万9、000円程度の負担金がかかることとなります。

【問】 浦議員

通所で利用する介護サ

ービスの現状は？

【答】 山田町長

本町のデイサービスでは、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活行為向上のための事業が日帰りで実施されています。現在要支援者23名、要介護者55名の計78名が利用しております。養寿園のショートステイは利用者が増加傾向です。

【問】 浦議員

訪問介護サービスの現状は？

【答】 山田町長

ホームヘルプサービスは、現在要支援者16名、要介護者8名が利用しております。

【問】 浦議員

高額介護合算医療費の現状と問題点は？

【答】 山田町長

介護保険と医療保険の両方の負担があることに

高齢者の買い物支援を

―関係各団体と協議する必要―

【問】 浦議員

全国的に話題になっていく買い物難民問題であるが、経済産業省は、宅配や移動販売といった買物の利便性を高める取組を地方自治体が補助金等を用意して支援する必要があると訴えている。

当町においては、移動店舗の支援などについて対策は考えていないの

か。また、新上五島町での「生活支援事業」を参考にできないか。

【答】 山田町長

トラック等を使った移動店舗の支援については、商店の利害や各商店の規模などが絡んでくることでもあり現時点では難しいと思います。現在、町内の商店では電話



社会福祉センターでのデイサービス

の注文を受け各家へ配達を行っており大変喜ばれています。

今後、お年寄りの状況が更に深刻になることも考えられることから、福祉の観点も含めて商工会を通して対応を促していきたいと思っています。

新上五島町の事業は、県の緊急雇用対策事業を活用して実施しているもので、県の事業が終了す

る23年以後の財政的問題をどうするのか課題もあります。

本町としては、独居老人等の問題も含めて商工会や高齢者福祉に係る各団体と協議を行う必要があると考えます。バス路線変更は協議会で話し合うよう指示しています。

過疎地域自立促進計画を踏まえ

更なる具体策を問う



伊藤忠之議員

―県の事業を活用し支援していく―



先頃、策定された本町の自立促進計画の中では、産業振興や福祉事業など行政全般において、現状と問題点、その対策が示されている。

それらを踏まえてさらに積極的な取組を促すため、農業問題と医療問題に関して伺う。

本町の農業は基幹産業のひとつであるが、生産物の価格低迷、安い輸入作物との競合、輸送費などの経費増、輸送時間の制約が加わり厳しい農業経営を強いられている。その様な環境の中で、農業従事者の高齢化と後継

者不足の問題は見過ごすことが出来ない大問題である。このことに対する対策をどう考えているのか。

【答】 山田町長

自分の子どもを後継者にする農家が少ないのが最大の原因だと思いま

す。後継者にしないのは農業経営が厳しいからと考えられ、これが高齢化を促進させ、ひいては農地の荒廃が進むという悪循環に陥ることになります。

対策としては、担い手公社の積極的活用と農業経営が成り立つ農産物の

生産と考えております。

【問】 伊藤議員
基幹作物等の価格の安定への対策は？

【答】 山田町長
生産と販売の両面から考えていかないとなかなか難しいと思います。他所に負けない高品質のものを生産する一方、市場・消費者の求めるものを求めるときにタイムリーに出荷するという、この2つがかみ合ったときに価格も補償されると考えます。

ことや安心安全を前面に打ち出した差別化を図ること、高齢者が好む調理しやすい農産物など知恵と工夫で産地化を目指すことだと考えます。

【問】 伊藤議員

四月には医師一名体制になると聞いている。また、看護師については三名の採用が決定しており、慢性の看護師不足が解消され、とりあえずホッとしているが、今後也十分な医療体制がとれるのか心配もある。今後の医師、看護師の確保に対する対策を伺う。

【答】 山田町長

過疎地域自立促進特別措置法の改正により、地域医療の確保、住民に身近な生活交通の確保、集落の維持及び活性化などの住民の安全・安心な暮らしの確保を図るためのソフト事業への過疎債の適応が明記されました。これを受けて過疎地域

8年間の財政運営を振り返って思うことは？

―76億円が53億円に！
ほぼ計画通りに借金を縮減―



立石隆教議員

財政運営の実績とそれをやり終えた今の思いは？



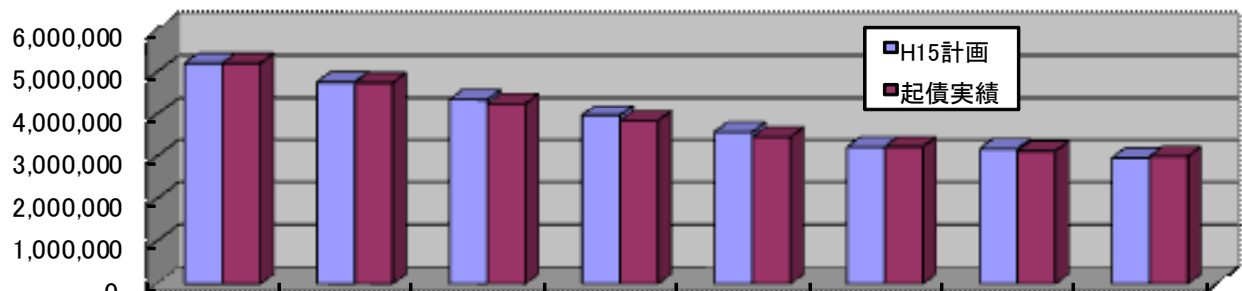
【答】 山田町長

就任当初の平成15年の起債残高（町の借金）は一般会計で約52億円ありましたが、現在約30億円で22億円が減少しました。（下のグラフ参照）

特別会計と合わせて起債残高は全体で約76億円ありましたが、現在約53億円に減少。ほぼ計画通りに返済することができました。

また、当底をついている基金残高も危惧されておりましたが、約4億

起債残高の推移（借金が計画通りに減少している様子）



平成15年度平成16年度平成17年度平成18年度平成19年度平成20年度平成21年度平成22年度
(見込み)

(千円)

取崩可能基金	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
平15年計画	5,212,547	4,773,352	4,366,046	3,978,842	3,579,225	3,225,505	3,181,700	2,973,032
起債残高実績	5,212,547	4,760,051	4,265,846	3,844,841	3,460,516	3,232,307	3,131,100	3,009,607

自立促進計画に医療スタッフ確保に関する事業を盛り込んでいます。奨学金の補助要綱を充実させ、それらを活用し離島勤務医師の確保や看護師の確保をしていく必要があると考えます。

【問】 伊藤議員
人工透析の必要な患者への対策は？

【答】 山田町長

本町の診療所にて対応できないか検討しましたが、更生医療指定機関としての施設基準に合わせるのが難しいため断念しました。

人工透析患者への交通費補助制度を設置している自治体もあるので、今後検討する余地があると考えております。

この8年間はまさに激動の時だった。町長は、文字通り、「岐路に立った小値賀」の進むべき道を必死に考え、選択し、自立のための努力をされた。

町長就任当初は、合併問題が町を二分する大きな問題であった。その中でも、もっとも注目されたのが町財政に関することだ。

町長は将来の町債（借金）の償還計画と財政計画を立て、財政運営の方針を示し実行してきた。



北松西高の卒業式

【問】立石議員
古墳の整備は関係機関と協議するといった事はどうなった？

【答】山田町長
協議したが費用等の問題ですぐに対応できませんでした。案内板については今後も検討していくことに。

【問】立石議員
自治体基本条例の制定についての検討は？

【答】山田町長
一度講演会を開きましたが、その後は手つかずの状態です。必要なことだと思いますので、今後に託したいと思います。

【問】立石議員
ゴミゼロ宣言の検討は？

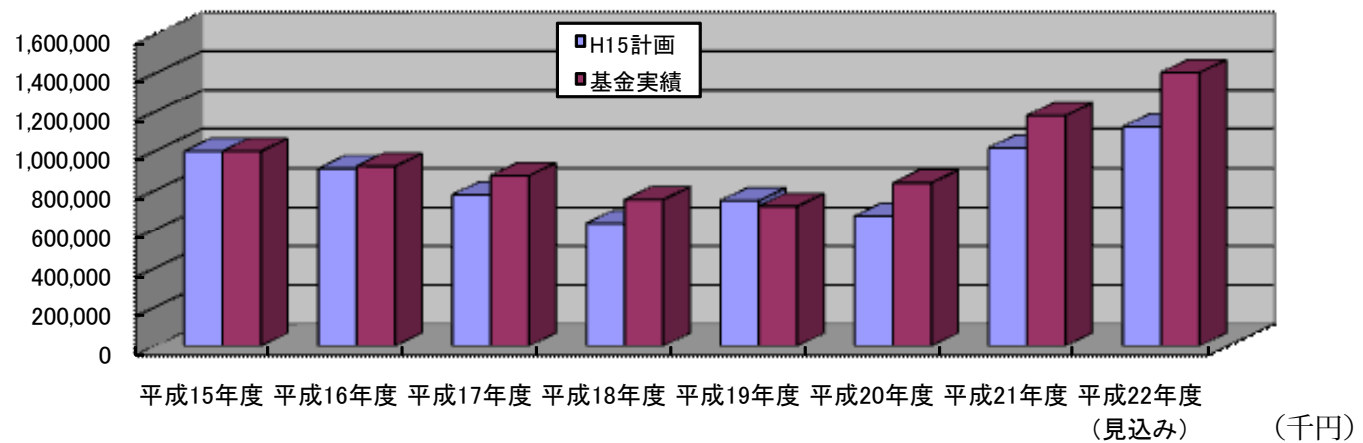
【答】山田町長
重要性は十分に認識しておりますが、具体的には進展できず、任期中には大きな改革は出来ませんでした。担当課とは展望と対策についてはよく話しており、今後具体化へ取り組みんでもらうものと思っております。

【問】立石議員
高校存続のため定員割れ対策の一環としての離島留学システムなどの検討は？

【答】筒井教育長
まずは小中高一貫教育に集中するべしとの指摘もあったので、具体的に検討はしておりません。

校長にも数回話しておりますが、取組には至っていません。

基金残高の推移（町の貯金が増える様子）



取崩可能基金	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
平 15 年計画	997,234,000	909,975,000	776,365,000	630,755,000	746,464,000	668,419,000	1,014,422,000	1,121,442,000
基金実績	997,234,000	921,018,000	873,846,000	751,610,000	717,958,000	837,133,000	1,178,185,000	1,403,333,000

円増加し、全会計で現在約18億1千円となっております。上記グラフにもあるように計画を大幅に上回って基金積み立て（貯金）ができました。

歳出カットなどの財政改革の成果は、人件費で約1億円の削減、物件費で約1億2千万円、公債費で約4億9千万円を削減しました。財政計画を堅実に実行した結果、債権団体になることなく、財政は安定したと考えています。

当時私は「小さくとも輝くまちづくり」と何度も口にして、財政的にも厳しくても、英知を結集し、職員の協力を得て、辛抱しながら身の丈に合ったまちづくりを提唱し実践してきました。

当手を振り返り、そのことは間違っていないかったというのが私の今の心境です。

事業や政策についての自己評価は？

―産業の活性化に一定の方向を示せた―

山田町長が8年間で最も力を入れた政策や事業について振り返り、それらに関してどのような自己評価をされているのか伺う。

【答】山田町長
私が最も力を入れてきたのは医療の充実と消防

の充実でした。医師の2名体制を確立することができました。

同様に力を入れたのが財政改革です。財政計画に沿った財政運営が出来たと自信を持っていえると思います。

次が交流人口の拡大です。古民家再生事業を始

め、イターン、Uターンの積極的な受け入れを実施してきました。産業の活性化に一定の方向を示せたと思っております。及第点はもらえるのかなと思います。

あの提言はどうなった？

8年間で私が一般質問で提言した内容についてその後どうなったのか伺う。

空き缶のデポジット制度の検討は？

【答】山田町長
関係機関と協議したが実施するに至りませんでした。



平成23年第1回臨時会

一般会計補正予算と工事請負契約の変更

一般会計補正予算（第6号）

		補正額	補正後の合計額
主 なる歳入	地方交付税	4,543 万 6,000 円	16 億 9,428 万 7,000 円
	国庫支出金	8,295 万 6,000 円	1 億 1,453 万 4,000 円
	県支出金	99 万 9,000 円	1 億 4,684 万 6,000 円
歳出	民生費	2,461 万円	3 億 9,238 万 5,000 円
	総務費	2,056 万 2,000 円	6 億 6,619 万 3,000 円
	衛生費	4,700 万円	2 億 3,508 万円
	土木費	2,120 万円	1 億 4,968 万 3,000 円
	教育費	850 万円	2 億 4,478 万 3,000 円



離島開発総合センター耐震工事

平成22年度地方交付税前年度比3、14%増

要因は国税増収のため！

平成23年1月27日に第1回臨時会が開かれまし

た。議案は、一般会計補正予算と工事請負契約の変更についてでした。

一般会計補正予算は、歳入で、地方交付税の確定による補正額の提示と、きめ細かな交付金な

ど国庫支出金の増額補正、円高デフレ対策の県支出金の増額補正でした。地方交付税は国税の増収により前年度比3、

14%増額、国庫支出金はきめ細かな交付金が増えた。また、離島開発総合セ

ンター補修工事費、旧図

書館を高齢者生きがい活動支援事業関連費用、看護師の宿舍建設事業費、道路維持費などの増額補正でした。いずれも原案通り可決しました。

また、離島開発総合センターバリアフリー整備工事の追加工事契約変更を可決しました。

お世話になりました。 議会だより編集の大役を終えて！

ありのままの議事公開、誰にも
読みやすく親しみやすい議会広
報づくりが如何に難しいかを感じて
います。ご愛読頂きありがと
うございました。

松永

皆さん！お気付きですか？
この1年間は総て定例会が開かれた月に
議会だよりは発行されました。特に74号
は議会終了後1週間で発行されました。新記
録です。編集委員は議会に全力、その後編集
作業に全力です。まるで2倍の定例会？
読み手の側に立った紙面作りができた
のか反省しきりです。

立石

広報の難しさは、
中に入って漸く判り
ました。みなさんに
感謝します。

小辻

議会だよりの編集作業は大
変勉強になりました。今後の仕事
に役立てたいと思います。

加山

和気藹々で、編集作業が
進み、議会だよりを皆様の手元に
届けるのが毎回楽しみでした。
ありがとうございました。

岩坪

広報常任委員会



編集後記

地球がおかし
くなっているの
かな？自然が変
です。
昨年の夏は猛
暑で、今冬は各
地に大雪を降ら
せ厳しい冷え込
みでした。

3月11日、東北太平洋
岸地域に大きな地震が発
生しました。

テレビで連日報道され
ている大震災の様子はま
るで映画を見ているかの
ように現実とは思えない
悲惨な光景です。

被災した人たちのため
に、国は最大限の努力を
しています。各方面から
の支援の動きも活発化し
ています。私たちも出来
ることを少しでも実行し
なければと思います。

東日本大震災に被災さ
れた皆さんに心よりお見
舞い申し上げます。被災
地の一日も早い復興をお
祈り申し上げます。

がんばれ！日本！

岩坪義光